

2020年に向けた東京都の取組

令和元年11月8日

東京都

<試行の主な内容>

TDMに関する試行

企業等への働きかけ
(東京圏、重点取組地区、特定エリア等)

政府・都庁の取組 等

TSMに関する試行

高速道路の本線料金所流入調整、
入口閉鎖

一般道路の交通対策
(信号調整)

2019年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
試行期間(スムーズビズ推進期間)						
チャレンジウィーク(7/22~26)、コア日(7/24)						
集中取組期間①(7/22~8/2)						
5	6	7	8	9		
	13	14	15	16		
集中取組期間②(8/19~8/30)						
2	3	4	5	6		

TDM (道路・鉄道)

- a) 目標達成に向けて更なる交通量低減が必要
- b) 物流に関する取組加速が必要
- c) 大企業では1社あたりの取組人数の増加、中小企業では取組企業の拡大が必要
- d) 大会期間全体を通じた取組を継続する方策が必要

- 1) 入念な事前準備による更なる交通量の低減
- 2) スムーズビズ等の取組の戦略的な推進
- 3) 観客との物流に関する調整の促進
- 4) 追加対策(首都高速道路の料金施策)

TSM

- a) 交通規制により、大会輸送の円滑性を一定程度確保可能
- b) TSMを機能させるには、十分な交通量低減が必要
- c) 入口閉鎖を予定している入口、迂回ルートの周知等が必要

- 1) 運用の最適化
- 2) 規制に関する情報提供

得られた知見・
試行結果

今後の展開

東京2020大会に向けたテレワーク導入推進の取組

- テレワークは、ICTを活用した、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方であり、働き方改革の起爆剤。
- 東京2020大会を契機に、テレワークを当たり前の社会に。
(2019年度の導入率 25.1% ⇒ 2020年度の目標 35% (従業員30人以上の企業))

大会後のレガシー に向けた気運醸成

◎テレワーク、時差Biz、TDMを、「スムーズBiz」として、一体的に推進
(テレワーク気運醸成イベントなど一体的に普及啓発)

導入意欲を喚起

- テレワーク体験セミナーの実施(一般・業界向け)・業界別ハンドブックの作成
- テレワーク推進デスクの設置(テレワーク普及のための拠点整備) 新規

企業のステータジ

導入ノウハウを提供

テレワークの
情報提供・課題
解決

トライアル
実施の支援

- 「東京テレワーク推進センター」の運営
 - ・テレワークの相談や機器の情報提供など。人材確保相談も実施
 - ・導入に向けた課題解決のためのセミナーの実施

- ワークスタイル変革コンサルティング(導入に向けた業務の洗い出し等の提案)
- 業界団体連携によるテレワーク導入促進事業(業界団体に対する助成) 新規
- テレワーク導入促進整備補助事業(はじめてテレワーク)
(トライアル経費と制度整備費の助成) 新規

システム構築等の 費用を支援

- テレワーク活用・働く女性応援事業(テレワーク活用推進コース)
(機器導入経費、サテライトオフィス利用料の助成)

企業のテレワーク導入を促進

地域の実情に応じた 取組の支援

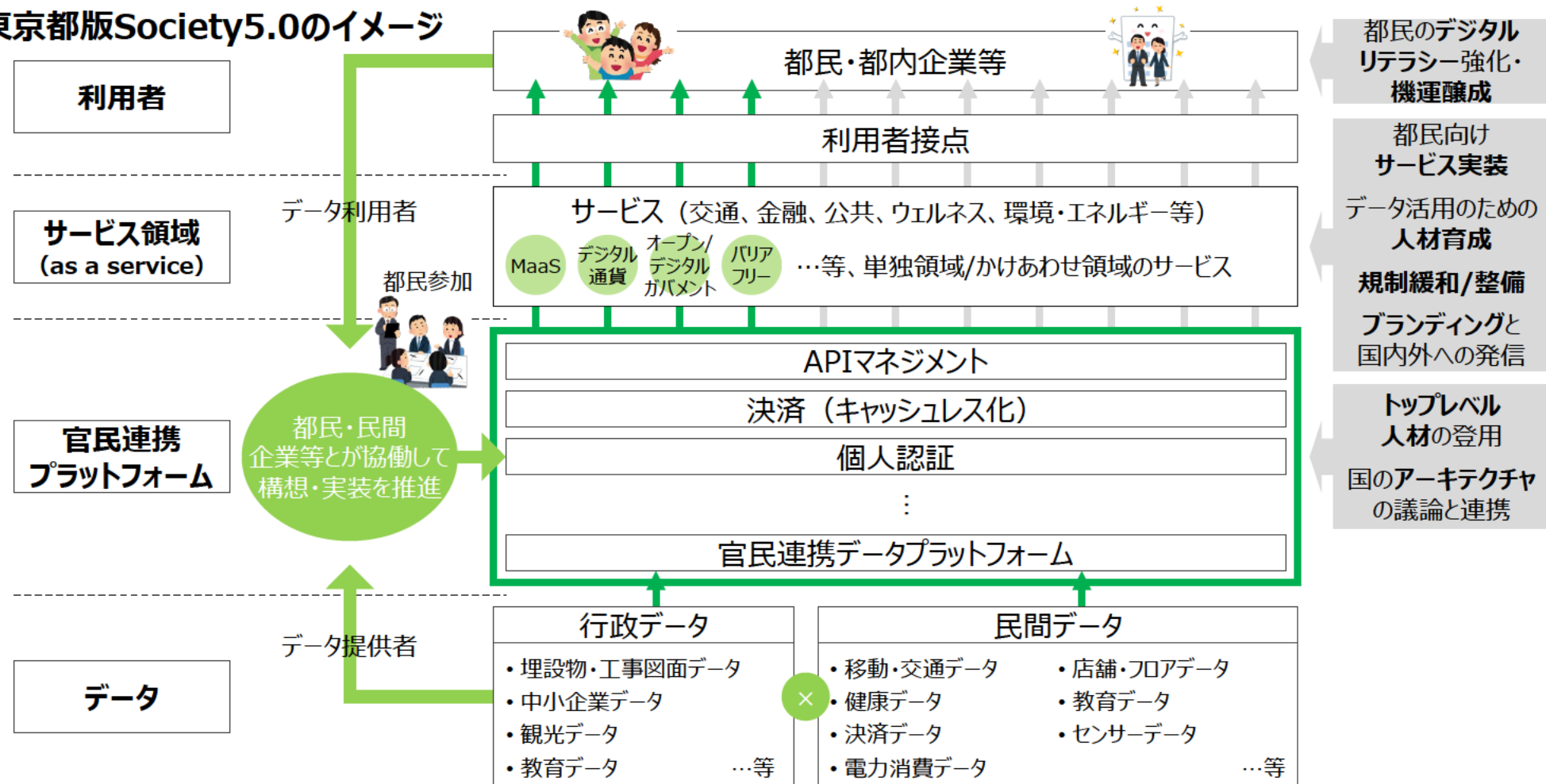
- サテライトオフィス設置等補助事業(市町村部にサテライトオフィスを設置する場合の補助)

『「稼ぐ力」の強化に向けた「Society5.0」社会実装モデルのあり方検討会』を開催

(※) これまでに4回（5月、7月、8月、10月）開催、計5回の開催を予定

様々なデータソースが集約される官民連携プラットフォームを構築し、それらを都民・民間企業が自由に活用することで、MaaS、キャッシュレス化、オープン/デジタルガバメント等を通じた、Society5.0を実現に向けて検討

東京都版Society5.0のイメージ



TOKYO Data Highway～電波の道～

- 世界最速のモバイルインターネット網を構築
- 5 Gネットワークを早期に構築

モバイルインターネットがつかない場所がない、東京を上げる
5 Gの普及と利用拡大を進め、**東京を絶えずUPDATE**

TOKYO Data Highway構築に向けた3つのアクション

Action 1 アンテナ基地局設置への都の保有するアセットの開放と利用手続きの簡素化

- 都のアセットを開放し、通信キャリアによる基地局設置を強力に後押し
- ワンストップ窓口を創設し、スピード対応を図るとともに、設置可能な都施設等をデータベース化し提供

Action 2 5 Gの重点整備エリアの設定

- ポテンシャルの高いエリアで5 Gアンテナを重点整備
(五輪会場、西新宿都庁近辺、東京都立大学)

Action 3 東京都自らの5 G施策の展開

- TOKYO Data Highwayを活用した先端技術で都民の生活をUPDATE

3つのActionをスピーディーに推進するため、都と通信キャリア等が連携
➤都と通信キャリア等が一堂に会し、意見交換を行う場として本日「TOKYO Data Highwayサミット」を開催